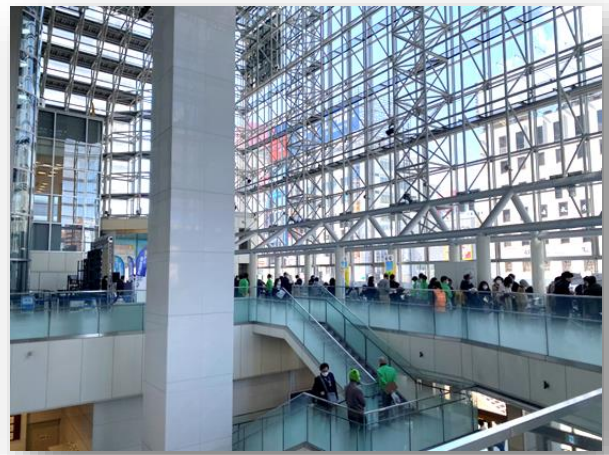


健康体験イベントにブース出展しました

令和6年3月16日にAERにて、“『みえる』から『あえる』”，『早期発見につながる検査・体験・展示』イベントが開催され，分子・再生歯科補綴学分野は口腔機能の重要性を啓発するブースを出展しました。



イベントには疾患の早期発見・早期予防の意識向上につながることを目的とした様々な検査体験コーナーが用意され，多数の来場者がありました。



▲ イベント全体像

当分野のブースには，長崎敦洋 助教、菅野響子 大学院生、安保沙羅 大学院生が参加し，75名を超える来場者に口腔機能低下症の紹介や残存歯数検査・舌圧測定を体験いただきました。



▲ 検査風景